

大会名	第72回関東高等学校男子バスケットボール選手権大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期日	H30.6.2	会場	TKCいちごアリーナ	試合No.	法政二高	15	16	27	8		66
審判	(主) 稲葉 威	(副) 武井 晋平	中島 弘幸	B1	前橋育英	20	17	25	22		84

法政大学第二高等学校(神奈川)

コーチ 鈴木 恭平 A・コーチ 高尾 尚平 マネジャー

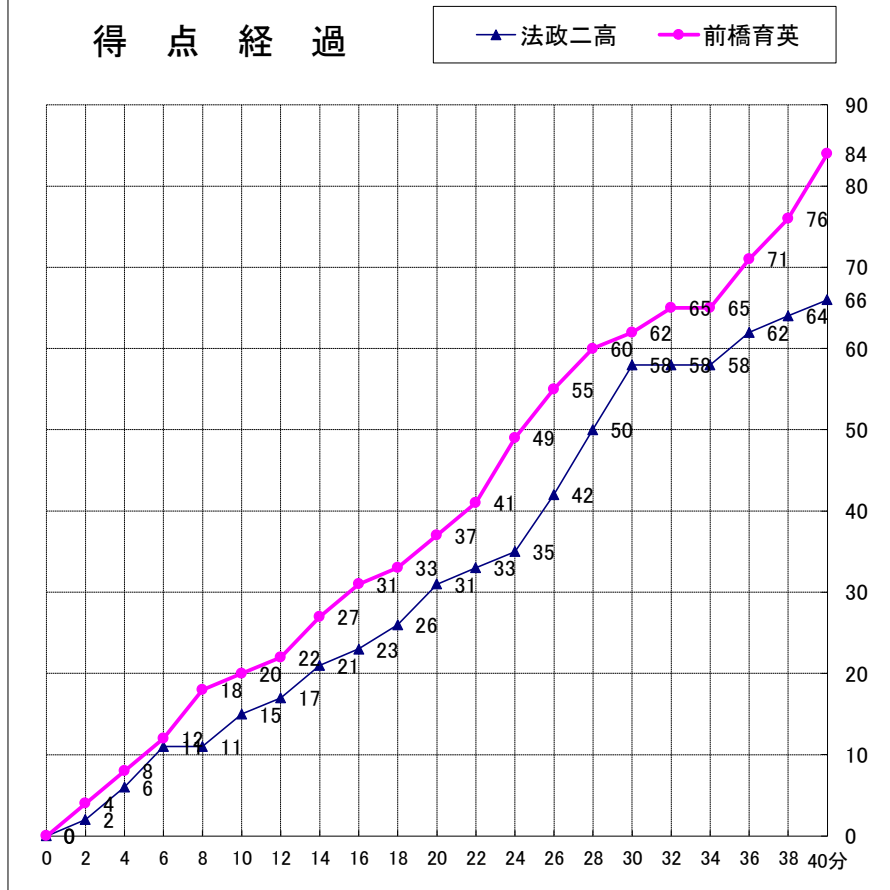
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
武藤 一真	0											
今池 翔大	3	11	0	2	5	10	1	2	3	1	1	2
有賀 陸	4											
田中 一真	5	5	0	0	1	2	3	4	4	1	1	2
高嶋 隆之介	9	0	0	1	0	4	0	0	4	0	1	1
坂本 祥平	12	15	2	5	4	7	1	2	2	2	1	3
高野 洋平	14	4	0	2	2	5	0	0	3	1	3	4
佐藤 悠真	17	19	1	3	8	16	0	0	3	1	1	2
濱田 恒平	18											
吉澤 凌雅	30	0	0	3	0	1	0	2	1	1	4	5
皆藤 太郎	31	4	0	0	2	5	0	0	2	2	1	3
波多野 碧人	35	3	1	3	0	1	0	0	0	1	1	2
実方 亮	90	0	0	1	0	3	0	0	0	0	4	4
戸井 紳乃介	91	2	0	0	1	3	0	0	3	0	0	0
内田 涼太	94	3	1	3	0	1	0	0	2	0	0	0
チーム									0	6	0	6
合計		66	5	23	23	58	5	10	27	16	18	34
成功率			21.7%		39.7%		50.0%					

前橋育英高等学校(群馬)

コーチ 加賀谷 寿 A・コーチ 鈴木 隆之 マネジャー 永井 優斗

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
近藤 虎ノ介	4	17	1	3	3	11	8	10	2	1	6	7
萩原 健斗	5	3	0	1	1	4	1	2	1	2	5	7
土田 昇平	6	11	1	2	4	7	0	2	1	5	2	7
入澤 翔	7	11	0	0	4	7	3	6	3	5	7	12
村上 翼	8											
齋藤 亮太	9											
鈴木 海都	10	3	0	0	1	3	1	2	1	0	2	2
野本 康悟	11	24	3	5	4	20	7	8	2	3	4	7
永井 優斗	12											
田中 勇颯	13	10	0	0	4	7	2	3	0	1	5	6
高橋 佑太	14											
船戸 海惇	15	5	0	0	0	2	5	6	0	2	3	5
渡部 輝	16											
石川 昂	17											
茂木 健太朗	18											
チーム									0	1	1	2
合計		84	5	11	21	61	27	39	10	20	35	55
成功率			45.5%		34.4%		69.2%					

得点経過



戦評

法政二対前橋育英のオープニングゲーム。独特の緊張感の中ゲームが始まる。前橋育英が#7入澤の合わせで先制点。ディフェンスはお互いにマンツーマン。前橋育英はインサイドに果敢にアタックし得点。対して法政二はピックからの3Pで返す。前橋育英は#7と#13のコンビネーションが冴える。1ピリは20-15前橋育英リードで終了。2ピリ、序盤から一進一退の攻防が続くが、5分を過ぎたあたりから徐々に前橋育英のリードが広がる。残り3分49秒、法政二がこの試合初めてのタイムアウト。その後、法政二はアグレッシブなドライブから持ち直し、差を詰める。1分7秒、今度は前橋育英がタイムアウト。タイムアウト後、前橋育英#4近藤が3P。しかし、法政二#12坂本が直ぐさま3Pで返す。37-31前橋育英がリードして前半終了。互いに集中したプレーが多く見られ、引き締まったゲーム展開となる。

後半、お互いにハーフマンツーマンで始める。法政二#12坂本のファストブレイクで先制点。対して前橋育英は#4近藤のジャンパーで返す。さらに#11野本のバスカン、3Pで差を広げる。残り5分、法政二は1-2-2のオールコートプレスからの3-2のゾーンディフェンスに切り替える。しかし、前橋育英は冷静に対応しリードを保つ。残り1分、法政二のブレイクが決まり、流れを掴む。前橋育英がタイムアウト。その後も法政二の勢いが止まらず、62-58の前橋育英4点リードで最終ピリオドへ。

4ピリ、開始2分互いに得点が入らない。この状況を打破したのが前橋育英#4近藤。バスカンでジャンパーを決める。その後は一進一退の攻防が続く。残り4分、4点差。法政二はチームファウルが5つを超える。前橋育英はインサイドをじわりじわりと攻める。リードが10点に広がったところで法政二がタイムアウト。しかし、前橋育英#11野本の3Pで万事休す。最終スコア84-66で前橋育英が勝利。開幕戦に相応しい好ゲームであった。

記入者 杉森 豪